



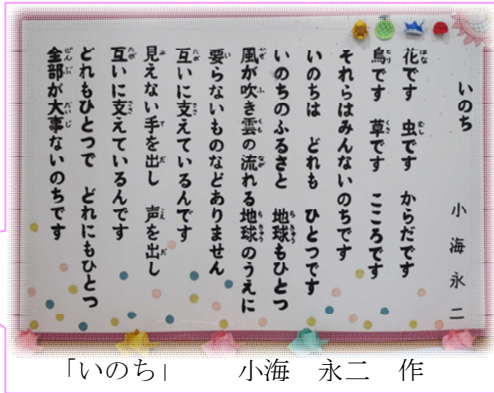
鞆の浦学園だより

いのち、輝く！
No Child Left Behind
No Child Left Behind
No Child Left Behind
No.10
2019年（令和元年）9月3日

一人一人が自分らしく輝く2学期に！！

長い夏休みが終わり、鞆の浦学園に子ども達の明るい笑い声が戻ってきました。おはよう坂を上る子ども達の元気な挨拶や笑顔が、「2学期もがんばるぞ！」というやる気を感じさせてくれました。夏休みに引き続き、子ども達が意欲を持って様々なことに挑戦することができるように、子どもたちの様子をしっかりと見守っていきたいですね。

始業式では、校長先生から「毎日、交通指導員さんやボランティアさんなど、たくさんの人が



みんなの成長を温かく見守ってくれている。」という話がありました。また、先月公民館で行われた落水洋介さんの「難病がくれた宝物」の講演に触れ、いのちの価値に高い低いはない、夢がある人は成長する、夢を持ってチャレンジしていこうと話されました。

子ども達を支える縁の下の力持ち

鞆の浦学園では、31人の職員がそれぞれの持ち場で子ども達の生活や学習を支えています。その支えの中で、子ども達は安心して学校生活を送ることができています。



事務室で、子どもたちの学習に必要な物を必要な時に使えるように常に気を配って準備をしている杉原先生と中東先生。掃除やかけるなど様々な場面で子ども達と関わりながら、鞆の浦学園の教育活動をしっかりと支えています。

学習に必要な準備物を作製したり用意したりしながら、教育効果を高めることに貢献している高須賀先生。

夏休みをふりかえって

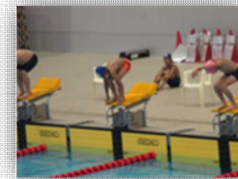
7月27日・28日の井田小交流に始まり、子ども達は、学校を離れ、自分の力を試したり可能性に挑戦したり様々な経験をしました。この経験が2学期にどう活かされるかとても楽しみです。

秋季総体(後期課程)



9年生にとっては、最後の大会となりました。1人1人が全力を出し切る姿が素敵でした！

水泳記録会(6年生)



自己記録をめざして

イングリッシュデー(5~9年生希望者)



楽しくコミュニケーション

弓削商船高校訪問(後期課程)



貴重な体験を通して

八潮の馬出し



伝統文化に触れて

5年生宿泊体験活動(トレセン)



いろいろな場面で、自分達で考えたり力を合わせたりして、活動をやりきりました！

(児童の感想より)

- トレセンで、人の話に反応することができるようになった。さらに人が話しているときは、顔を向けてうなずいたり大きな声で反応したりできるようにしたい。
- 最初の活動で時間に遅れたので、みんなで気を付けて5分前行動をするようにした。これは、学校だけでなく社会人になった時にも活かせることだと思う。最初の失敗を成功へとつなげられたのが、大きな成長だ。
- キャンプファイヤーの日は友達の誕生日だったので、サプライズでみんなでお祝いして喜んでもらった。これからも友達がうれしくなることをしていきたい。

《11月参観日変更のお知らせ》

11月の参観日を7日(木)に変更します。当日は、午前中はマラソン大会、午後から9年生進路説明会、授業参観・学級懇談会の予定です。よろしくお祈りいたします。